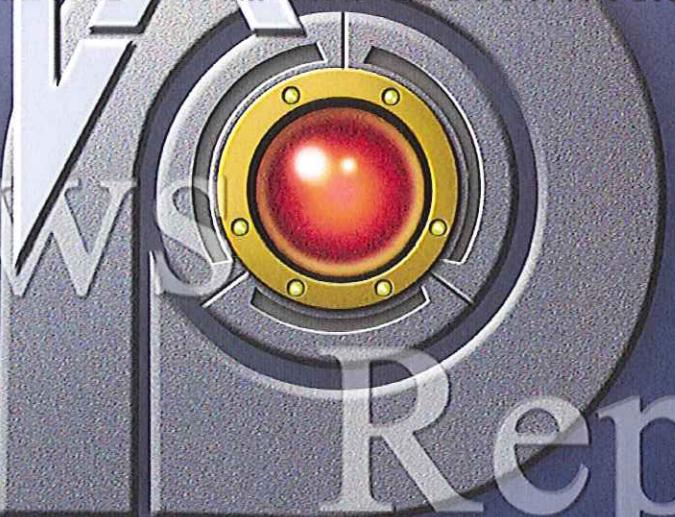


2010年新年号

# OMSA会報 大阪

OSAKA METAL STAMPING ASSOCIATION'S NEWS



## News Report

OMSA

### ▼ TABLE OF CONTENTS ▼

年頭のご挨拶	2
事業経過報告	4
事業案内	5
塑性加工シンポジウム	7
VOC排出削減セミナー	8
ものづくり企業を支援します！	10



社団法人 大阪金属プレス工業会

<http://www.omsa.or.jp/>

# 年頭のご挨拶



会長 夏山享啓

**新** 年明けましておめでとうございます。  
会員の皆様方におかれましては、それ  
ぞれの思いの中、お健やかに「寅年」の新年を  
迎えられた事と存じます。

旧年中は、当工業会の事業運営にあたりまし  
て、会員各位はもちろんの事、関係行政機関  
並びに関連業界団体等、多くの皆様方のご支  
援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、少し昨年を振り返ってみたいと思  
いますが、2008年9月15日のリーマン・ショ  
ック以降、世界同時不況とも100年に一度の大  
恐慌とも言われる経済・金融危機が、日本・  
欧米はもちろんの事、新興国をも未曾有の経  
済的窮地に追い込みました。日本政府も、麻  
生政権時代に緊急保証融資、定額給付金・エコ  
カー減税及び、補助金、省エネ家電に対する  
エコポイント、雇用維持を目的とした雇用調  
整助成金等々、様々な緊急経済対策を講じ、  
ようやく景気の底入れ宣言も飛び出して、間  
もなく昨年11月25日、UAEドバイ首長國  
発の金融不安に為替が敏感に反応し、ユーロ  
安、円も対ドルベースで14年振りに84円台  
へ突入、株価も9000円台割れ寸前まで下落  
し、政府日銀も12月1日に、緊急金融政策  
決定会合で10兆円規模の資金を市場介入し、

量的緩和拡大に踏み切り、ようやく円高・株安  
に歯止めがかかりましたが、今後共、円高・  
株安が何時どのような形で再発するか、予断  
を許さない状況です。デフレの深刻化も新た  
な火種になる可能性があります。日本の基幹  
産業の一つでもある自動車業界におきましても、  
新車販売台数が458万台と、1987年以来、22年ぶりに500万台を割り込む数字に  
なりました。

輸出主導型の産業構造から内需主導型の産業  
構造への構造改革が叫ばれて久しいですが、  
これは5年や10年で転換できるものではあ  
りません。

しかし、新政権の民主党は「内需主導経済」を  
標榜していますので、今後の政策に期待せず  
にはいられません。

さて、政界では自民党から民主党へ、昨年  
夏の総選挙で戦後初めての本格的な政権交代  
がなされました。今年7月には参議院選挙が  
行われる予定です。民主党が絶対的安定多数  
を獲得するか注目されるところです。

ところで、鳩山民主党の目玉の一つが  
CO2(温室効果ガス)削減です。中期目標では、  
2020年度迄に90年度比CO2 25%削減をか  
かげています。EV(電機自動車)と並び、にわ

かに太陽光発電が注目を浴びています。太陽光発電住宅には「住宅版エコポイント」の導入も検討されています。我々プレス業界にとっても、今後の市場規模が気になる数少ない成長分野と考えられます。少しでも、多くのプレス部品があればと期待せざるにはいられません。又、景気の下支えという意味でエコカー減税は、本年9月迄、又、省エネ家電に対するエコポイント制度は品目も増やし、本年12月迄延長される見通しです。金融面でも、景気浮揚策の拡大を期待したいものです。

何はともあれ、今年も厳しい1年になりそうだと思うのは私だけではないと思います。しかしながら、ピンチの後には必ずチャンスが来ると思います。天気も雨の日ばかりではありません。きっと、快晴の日が来ると思います。その日を、ただ漠然を待つのではなく、その日の為に、日々技能・技術を蓄積する事が

大事だと思います。

私たち金属プレス業は、色々な業界の製品の必要不可欠な部品を生産提供する、まさしく、サポート・インダストリーです。今後も国内はもちろんの事、新興国との競合、競争は激しさを増していくと思いますが、自信を持って行動すればきっと明るい展望が開ける事でしょう。

当工業会も会員の皆様方のニーズをいち早くキャッチし、タイムリーに事業に展開して参りたいと思います。これまでの継続事業である技能検定をはじめ、ISO取得の為の手助け、リスクアセスメントの更なる普及、そして、新たな事業に挑戦して参る所存でございます。

どうぞ、今年一年も引き続きより一層のご支援、ご協力を願い申し上げまして、年頭のご挨拶にかえさせて頂きます。

## 厚生労働大臣表彰を受賞！

去る11月16日東京港区の明治記念館において、技能検定「金属プレス加工」・「金型製作」の2職種についての永年における功績が認められ、厚生労働大臣表彰が贈られ、その贈呈式がありました。



# 事業経過報告

10/26~12/9

## 青年部 10月例会（青年部会）

- ◆ 開催日 10月26日(月)
- ◆ 場 所 工業会事務所
- ◆ 議 題 3地区合同交流会・近況報告
- ◆ 参加者 10名



## 技能検定委員連絡会議（安全・技術委員会）

- ◆ 開催日 10月27日(火)
- ◆ 場 所 庄助
- ◆ 議 題 検定結果報告及び次年度の意思統一について
- ◆ 参加者 9名



## 第11回健康ハイキング（総務委員会）

- ◆ 開催日 11月29日(日)
- ◆ 場 所 五條市
- ◆ 参加者 43名



## 青年部OB・現役合同忘年会（青年部会）

- ◆ 開催日 12月2日(水)
- ◆ 場 所 天王寺魚市
- ◆ 参加者 23名



## 忘年会（総務委員会）

- ◆ 開催日 12月9日(水)
- ◆ 場 所 リーガロイヤルホテル
- ◆ 出席者 32名



会員各位  
顧問・相談役各位  
青年部各位

(社) 大阪金属プレス工業会  
会長 夏山 享啓  
経営委員長 東潤一郎  
総務委員長 西哲也

## 平成22年 新年賀詞交歓会開催のご案内

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、新年を迎える会員企業各位をはじめ、関係行政機関及び関連団体の方々にもお越しいただき、恒例の新年賀詞交歓会を下記のとおり開催させていただきます。

つきましては、年初なにかとご多用のことと存じますが、万障お繰り合わせの上ご参加いただきますようご案内申し上げます。

尚、賀詞交歓会に先立ち、本会の新旧会長の講師による、新春リレー講演会を開催致しますので、併せてご参加下さいますよう、よろしくお願ひ申し上げます

敬具  
記

【日 時】 平成22年1月22日(金)

第1部 新春特別講演会 15:30~17:15

講師:吉田多佳志氏(前会長・大東プレス工業㈱代表取締役社長)

夏山 享啓氏(会長・夏山金属工業㈱代表取締役社長)

第2部 新年賀詞交歓会 17:30~19:30

【会 場】 第1部 たかつガーデン 3階「カトレア」

第2部 // 8階「たかつ東中」

【参 加 費】 10,000円/人 (講演会は無料)

お振込先

三菱東京 UFJ 銀行上本町支店

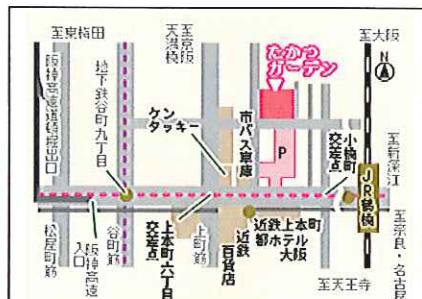
(普)0487575

(社)大阪金属プレス工業会

(社) 大阪金属プレス工業会宛  
FAX 06-6762-7633  
mail omsa1@omsa.or.jp

### 平成22年 新年賀詞交歓会参加申込書

御会社名	講演会	懇親会
御役職名	御 氏 名	<input type="checkbox"/> 印 願います
お支払い方法	<input type="checkbox"/> 振込 ( / 予定)	<input type="checkbox"/> 当日払



大阪市天王寺区東高津町7-11

会員各位

(社) 大阪金属プレス工業会  
経営委員会

## 平成21年度 経営・労務研究会 シリーズ第2弾

ぜひとも知っておきたい

### 労働関係法改正点のポイント

平成22年4月より労働基準法が改正されます。今回の改正で、月60時間を超える時間外労働の割増率のアップや代替休暇の付与、年次有給休暇の時間単位の取得など新たな制度も導入され、就業規則の改定や労使協定の締結などが必要となります。また、育児介護休業法におきましても、平成22年6月より短時間勤務義務化などについて改正されます。本セミナーでは、改正のポイントをやさしく解説してまいります

日時 2月16日(火) PM2:30 ~ 5:00

場所 たかつガーデン3階「蘭」(大阪市天王寺区東高津町7-11 TEL06-6768-3911)  
(近鉄上本町駅徒歩3分・地下鉄谷町九丁目駅徒歩6分)

参加費 無料

定員 20名(定員になり次第、お申込順にて締切とさせて頂きます)

内容 1. 「改正労働基準法」および「改正育児介護休業法」の概要についての解説  
2. この法律の施行により、見直さなければならないポイント

講師 宮川 弘之氏(株式会社H&Iコンサルティング代表取締役・特定社会保険労務士)

プロフィール: サラリーマン時代の労働組合経験(支部長を歴任) 活かし、就業規則・人事制度構築(賃金制度・退職金制度・人事考課制度)のコンサルティングを行っています。

詳しい情報はこちら → URL: <http://www.hi-grp.co.jp>

— FAX 06-6762-7633 —

2月16日(火)のセミナーに参加します。

会社名		役職	
お名前		ご連絡先 TEL	
E-Mail (FAX)		会場案内図	<input type="checkbox"/> 要 <input type="checkbox"/> 不要

お問合せ:(社) 大阪金属プレス工業会 06-6762-8629 (担当:池田まで)

# 第 281 回塑性加工シンポジウム

## 「微小・精密部品における鍛造加工の最前線」

日 時：平成 22 年 3 月 5 日（金） 9:50～17:00

会 場：工学院大学新宿校舎 A-0514 教室 [〒163-8677 東京都新宿区西新宿 1-24-2 TEL03-3342-1211]

交 通：JR, 京王線, 小田急線, 地下鉄各線「新宿駅」下車, 西口より都庁方面へ徒歩 5 分

(<http://www.kogakuin.ac.jp/map/shinjuku/index.html>)

主 催：日本塑性加工学会（実行：鍛造分科会）

協 賛：軽金属学会、精密工学会、日本機械学会、日本金属学会、日本材料学会、日本トライボロジー学会、型技術協会、日本鉄鋼協会、粉体粉末冶金協会、大阪金属プレス工業会、日本金属プレス工業協会、日本鍛造協会、日本ねじ工業協会、アルミニウム鍛造技術会

趣 旨：精密機械・医療・電子・通信などの産業分野におけるマイクロ・メゾスケール（数  $10\mu\text{m}$  から数 mm）部品やそれらも含んだ精密部品の急速な発展は、我々の生活をさらに豊かにし、新たな産業を生み出す可能性がある。従来、このような微小・精密部品は切削・研削やリソグラフィーなどによる加工が主流であった。しかし、最近では塑性加工による高精度三次元製品の創製として鍛造加工への工法転換が実用化され、大幅な製造コストの低減や高付加価値化の実現も本格化している。本シンポジウムでは微小径線や薄板などの鍛造を中心とした精密塑性加工の各種事例を紹介し、今抱えている微小・精密部品の鍛造加工の課題やその将来性などについて討論する。

プログラム：開会の辞（9:50～10:00）

日本塑性加工学会鍛造分科会主査

石川 孝司君

午前の部（10:00～12:00）

司会 工学院大学

久保木 功君

午後の部（13:00～16:30）

司会 アイダエンジニアリング㈱

中野 隆志君

時 間	内 容	講 師
10:00～10:40	<b>マイクロ・メゾ成形の現状と問題点：</b> 精密鍛造と同時に微小部品の成形が望まれている。0.1mm～数 mm サイズのマイクロ・メゾ加工に関する研究の欧米およびアジアにおける動向を解説する。さらに素材組織と変形およびトライボロジーの観点からマイクロ・メゾ成形の問題点を探る。	名古屋工業大学 大学院工学研究科 堂田 邦明君
10:40～11:20	<b>難加工材料を用いた微小締結部品の圧造・転造加工：</b> 締結部品には軽量、かつ高強度であることが求められる。チタンやマグネシウムなどの難加工材を用い、精密ねじを圧造・転造加工により製造する取り組みについて紹介する。	㈱ユニオン精密 技術部 小島 政幸君
11:20～12:00	<b>異種材接合／軟質材効率生産を可能にしたマイクロ部品圧造機の開発：</b> 異種材料 2 種を圧造時に圧着させる接点生産用圧造機、および軟質材料のダイオードピンの効率的な生産を実現した圧造機などの開発経緯とそれらの特徴について述べる。	㈱中島田鉄工所 中島田 正宏君
12:00～13:00	昼 食・休憩	
13:00～13:40	<b>微小複雑形状部品のフォームローリング加工及び特殊ローリングマシン：</b> 精密機械部品の中で、ネジを含む長軸の凸凹多段形状部品を対象に、リール材より線材矯正、線材カット工程をへて 1 工程で最終形状まで加工を行うフォームローリングマシン及びその他のフォームローリング加工の事例について紹介する。	㈱三明製作所 営業技術課 谷口 正樹君
13:40～14:20	<b>微細金型製作装置と微細加工用プレス装置による微細精密部品加工への挑戦：</b> 新しい微細超硬合金金型製作装置と微細鍛造用装置を用いた 0.1 mm サイズの微細部品製造事例、また直近の微細塑性加工技術開発事例について紹介する。	高島産業㈱ 遠藤 千昭君
14:20～15:00	<b>腕時計精密部品のプレス金型設計と製造：</b> 腕時計ムーブメントでは外径 1mm 程度の微小歯車、寸法精度数 $\mu\text{m}$ の複雑形状の精密部品などがプレス加工により量産製造されている。鍛造プロセスを含んだプレス順送金型などの設計・製作とそれを利用した腕時計精密部品の加工事例について紹介する。	盛岡セイコー工業㈱ 型技術部 小野寺 広通君
15:00～15:10	休憩	
15:10～15:50	<b>精密打抜きと冷間鍛造の複合加工：</b> 精密打抜き（ファインプランキング）といえば自動車部品に適用例が多いが、電機関係部品に小物精密部品の事例がある。精密打抜きと冷間鍛造の要素を取り入れた複合加工による小物精密部品の事例について紹介する。	㈱秦野精密 技術部 渕脇 健二君
15:50～16:30	<b>板鍛造における精密加工：</b> 携帯電話ヒンジ、コピー機、ドットプリンター、空圧機器、鉄心、自動車制御などの精密部品を、順送金型を使用してシェーピングと鍛造との組合せ技術にて完成させる加工事例について紹介する。	㈱寺方工作所 技術部 語堂 佳子君
16:30～17:00	総合討論：	司会 大同特殊鋼㈱ 五十川 幸宏君

定 員：80 名（定員になり次第締切、定員超過の場合はご連絡します。）

参 加 費	事前申込(2月 26 日必着)	2 月 27 日～当日
会 員	8,000 円	10,000 円
一 般	12,000 円	15,000 円

(注) 参加費にはいずれもテキスト代含む。学生は半額、協賛学協会は会員扱い。2 月 26 日(必着)までにお申込みください。テキストのみご希望の方は、シンポジウム終了後 残部があれば対応します。

申込方法：学会ホームページ(<http://www.jstp.or.jp>)【行事のご案内】よりお申し込みください。参加券、請求書等をお送りします。なお、お支払いは請求書到着後2週間以内にお願いいたします。

# 「VOC 排出削減における中小企業団体等の取組事例(近畿)」 セミナー開催のご案内

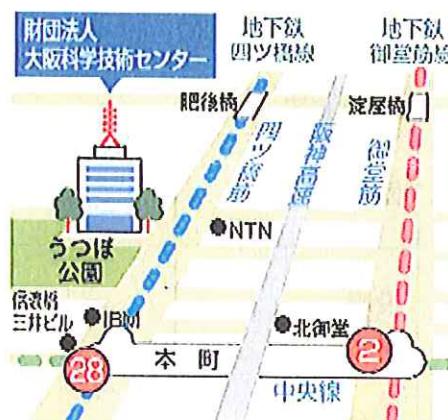
平成18年4月より改正大気汚染防止法が施行され、法による規制と事業者による自主取組との適切な組合せによる効果的なVOC排出抑制により、平成22年度には平成12年度比で3割程度の削減を目指しております。目標達成には、特に中小企業及び中小企業団体等の皆様の自主的取組が期待されているところですが、一方で「取組に対する情報が入らない」「参加するきっかけがない」という声があるのも現状です。

このため、機械製造や基礎産業関連の協同組合等の方々を対象としたセミナーを開催し、VOC 対策を取り巻く現状について解説すると共に、団体での具体的な取組方法について、成功事例を交えた紹介を予定しております。

VOC 対策は、有機溶剤を取り扱っておられる事業者全体の問題です。このセミナーを通じ、自主的なVOC 対策のヒントをつかんで頂けることと存じます。奮ってのご参加をお待ちしております。

- 主 催 近畿経済産業局
- 協 力 近畿地方環境事務所
- 日 時 平成22年1月29日(金) 13:30~16:45
- 場 所 (財)大阪科学技術センター 8階 中ホール  
〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4  
TEL: 06-6443-5324  
<http://www.ostec-room.com/html/access/access.html>
- 参加費 無料
- 定 員 135名、先着順
- 交 通 地下鉄 四つ橋線 本町駅下車  
28号出口 北へ徒歩3分 うつぼ公園 北側  
地下鉄 御堂筋線 本町駅下車  
2号出口 西へ徒歩7分 うつぼ公園 北側

※駐車場のスペースが限られているため、公共交通機関をご利用ください。



プログラム(予定) ※変更になる場合があります	
開会の挨拶	経済産業省 近畿経済産業局 環境・リサイクル課長 小菅修
VOC 排出抑制に向けた自主的取組について	経済産業省 近畿経済産業局 環境・リサイクル課 指導係 沖真知子
中小企業団体のVOC 対策取組の現状と課題	みずほ情報総研株式会社 環境・資源エネルギー部 シニアコンサルタント 和田宇生
関西グラビア協同組合および組合員企業の取組事例	関西グラビア協同組合 理事長 米谷和彦
近畿自動車車体整備協同組合連合会および組合員企業の取組事例	近畿自動車車体整備協同組合連合会 塗装委員会 委員、 兵庫県自動車車体整備協同組合 副理事長 古川五夫 近畿自動車車体整備協同組合連合会 専務理事 池宮 實
電機・電子4団体の取組事例	パナソニック株式会社 環境本部 環境推進グループ 主事 森田慎吾
VOC 対策アドバイザー派遣による企業の取組事例	環境・省エネルギー改善アドバイザー 西端清敏
VOC 自主的取組支援ボードの紹介	(社)産業環境管理協会 環境技術部門 環境技術センター 技術室 主幹 遠藤小太郎

- 申込方法 FAX の場合：別紙の申込用紙でお申込みください。  
Eメールの場合：申込用紙の記載事項を [semin@mizuho-ir.co.jp](mailto:semin@mizuho-ir.co.jp) 宛にお送り下さい。  
参加証は発行いたしません。定員オーバーの場合のみご連絡いたします。  
セミナー当日、お名刺をご持参ください。
- 問合せ先 事務局 みずほ情報総研株式会社 TEL: 03-5281-5283 担当: 本田、和田

**FAX:03-5281-5266**

「VOC 排出削減における中小企業団体等の取組事例(近畿)セミナー」事務局行き

## 申込用紙

※ Eメールの場合は、下記事項をメールの文面にお書きになり、  
**semin@mizuho-ir.co.jp** 宛にお申し込みください。  
その場合、タイトルは「VOCセミナー」としてください。

### 参加者

団体名	
役職	
ふりがな 参加者氏名	
住 所	
電 話	
F A X	
e-mail	

※ご提供頂いた個人情報は、当セミナー以外の目的には使用いたしません。

# ものづくり企業を支援します！ 大阪府立産業技術総合研究所



## 『産技研』の愛称で親しまれる 技術開発推進拠点

当研究所では、技術開発の推進拠点としての整備を行い、多くの企業の皆様にご利用いただけるよう、これまでの技術指導、依頼試験、設備機器開放等の機能を一層強化して、**130名(H20.4)**の研究職員がご相談に応じます。



受付では、私たちがお待ちしております。

受付は技術支援センター（電話 0725-51-2525）まで。  
産技研ホームページ <http://tri-osaka.jp/>  
E-mail相談 <http://tri-osaka.jp/tri24c.html>  
所在地：和泉市あゆみ野2丁目7番1号  
交 通：泉北高速鉄道「和泉中央駅」からバス8分  
阪和自動車道：岸和田和泉インターすぐ

「産技研」からのお役立ち情報をご希望の方はご登録下さい。  
<http://www.tri.pref.osaka.jp/MailNews/>

こんな形でお役に立っています  
(平成20年度実績)

技術相談をしたい  
来所相談(16,654件)

機器を利用したい  
機器使用(7,259件)

試験・分析をしたい  
依頼試験(5,724件)

勉強をしたい  
技術講習会等(137回・2427人)

技術情報を知りたい  
メール発信(154件)

技術教育をしたい  
研修生(19人・月)

研究を行いたい  
受託研究、共創研究(49件)

## 産技研って何？

### 「うちは関係ないわあ」

「うちは関係ないわあ」という経営者の方へ！  
産技研は中小ものづくり企業の技術支援をしている大阪府立の施設です。  
メイド・イン・おおさかをお手伝いします。



無響室

### いろいろできます

産技研にあるいろいろな加工機で試作・実験ができます。  
いろいろな分析機器で材質を調べ、いろいろな試験機器で性能・機能を調べることができます。・・・とにかく、いろいろな分野の専門スタッフが「ものづくり」に取り組む皆様の技術パートナーになります。  
長年にわたり蓄積したノウハウをお役立て下さい。  
ITの専門家もいますから、話題の情報セキュリティもご相談ください。

### 相談は無料です

「うまくいかん！」という方も、「うまくいってる！」という方も大歓迎です。  
経験豊富な専門スタッフが、いろんなレベルのご相談に応じます。  
技術相談は無料です。どんどんご利用ください。

### 工場までお伺いします

産技研の職員は現場が大好きです。  
呼んでくだされば工場までお伺いします。  
日頃気付かない無駄や課題が見つかるかもしれません。

### 半歩先行くモノ作りヒント

先進的な研究にも取り組み、その成果をどんどん現場に生かすというのが産技研の姿勢です。  
使える技術や、役に立つノウハウを提供できます。  
先端技術を紹介するセミナーや講習会も開いています。  
半歩先行くモノづくりのヒントが見つかります。



セミナーや講習会もやっています

### 産技研にお越しください

産技研は緑あふれる和泉丘陵にあり、大阪市内から車で1時間弱のところです。  
年間3千を超える企業から1万6千人以上の方が産技研を利用でおられます。  
どうぞお気軽に産技研にお越しください。

ホームページを一度のぞいてみて下さい <http://tri-osaka.jp/>



OMSA

社団法人 大阪金属プレス工業会

〒543-0001 大阪市天王寺区上本町 5-5-15

TEL (06)6762-8629 FAX (06)6762-7633

<http://www.omsa.or.jp/>

mail:omsa1@omsa.or.jp